

茶どころの和束町で、お茶に関する理解促進やPRに学校一丸で取り組む和束中(金塚)が、茶文化振興に貢献した個人や団体に贈る「福寿園・お茶の文化賞」の奨励賞に選ばれた。

同中は栽培や製茶の実習を20年以上続けた。同中は栽培や製茶の実習を20年以上続けた。

1日には学校の茶畠で茶摘みを行い、近隣の小学校や保育園、地元住民をはじめ、今年は京都国際フランス学園(京都市下京区)の園(京都市下京区)の生徒たちも参加した。生徒たちは園児らに摘み方を教えたり、日本語が話せない参加者と英語交じりで会話をしていた。

和束中生徒会長の3年高木莉子さん(14)は「年齢に関係なく、お茶を通してつながれて良い経験が積める」と「お茶学習」の魅力を話した。

(野坂真輝)

和束中、奨励賞に選出

「福寿園・お茶の文化賞」



地元園児たちに茶の摘み方を教える和束中の生徒(和束町金塚)



和束中の茶畠で1日に収穫した新茶。
関西茶品評会に出品される

和束中学校 茶摘み体験学習 & 「福寿園・お茶の文化賞」受賞の記事です

